

## 研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

精神科疾患病棟における窒息事故の実態調査
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2008年4月から昭和大学附属烏山病院長の研究実施許可を得た日までに当院に入院された方 (2017年12月22日)
<b>2. 研究目的・方法</b> 平成26年度のわが国の死因別死亡率によると、第6位に不慮の事故で39029人となっており、その中でも最も多いものが窒息(25.1%)となっています。窒息事故は特に精神疾患患者に多いと以前より報告されています。先行研究(野末真司ほか. 精神科病棟における窒息患者の調査. 精神科 2016;28:1)により、昭和大学附属烏山病院における窒息事故について、原疾患や食事の環境要因の関係については明らかとされていましたが、口腔機能と窒息の関係は検討されていません。そこで本研究では精神科病棟における窒息事故の実態調査を行い、口腔内の状態、摂食嚥下機能と窒息事故の関係を解析することで、窒息事故の予防プロトコルの見直しを図ります。本研究は後方視的学術研究です。昭和大学附属烏山病院に入院中の患者データを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。
<b>研究期間</b> 「昭和大学附属烏山病院臨床試験審査委員会」承認後、昭和大学附属烏山病院長の研究実施許可を得てから2023年3月まで
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 年齢、性別、精神疾患名、窒息事故の経緯、窒息事故の時間帯、窒息原因物、錐体外路症状の有無、ADL、食事介助の状態、食行動の癖、異食・盗食の有無、食形態、口腔内所見(残存歯の状態、咬合様式、口腔乾燥、舌苔の有無、口臭の有無)、義歯の有無、口腔周囲機能状態、摂食嚥下機能状態(むせの有無、RSST、頸部聴診、嚥下内視鏡検査所見)

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科

(歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門)

氏名：石川 万里子 (研究責任者)

住所：145-8515 東京都品川区旗の台 2-1-1 電話番号：03-3787-1154